瀬田川プランクトン調査結果速報

～第29報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門　生物圏係
令和8年10月19日

1.最も数が多かった種類（優占種）

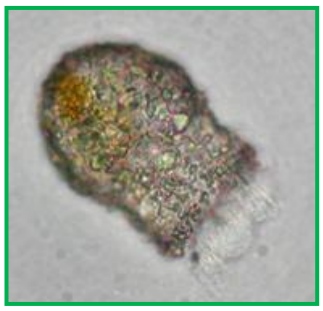
植物プランクトン第１優占種



Aulacoseira granulata
（アウラコセイラ　グラヌラータ）
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成します。細胞殻の側壁には斜めに走る点紋列があります。また、細胞の両端に長い棘状の突起を有しており、これらが噛み合うことで細胞同士が連結しています。

動物プランクトン第１優占種



Codonella cratera
（スナカラムシ）
繊毛虫類

壺のような黒色の固い殻を持ち、その殻は砂粒を含んでいます。殻前方が開いており、その後ろにくびれがあるのが特徴です。殻の中に無色透明の繊毛虫が入っています。

コメント
植物プランクトンは、細胞数・体積ともに珪藻に属するアウラコセイラ　グラヌラータ(*Aulacoseira granulata*)が優占種となりました。綱別の体積では、降順で珪藻が約64%、褐色鞭毛藻が約16%、次いで緑藻が約14%となりました。動物プランクトンは、繊毛虫類のスナカラムシ(*Codonella cratera*)が優占種となりました。ピコ植物プランクトンは、今週は140,000細胞/mL(輝橙色：95%、深赤色：5%)計数されました。
植物プランクトンについては、藍藻の群体数が前回の約7分の１へと大幅に減少しました。また珪藻の細胞数が前回の5倍以上に増加しました。動物プランクトンについては、引き続きスナカラムシが優占種となりました。

2.計数された主なプランクトンとその数（個体数）*

（１）動物プランクトン

第　１　優　占　種		（個体／L）
繊毛虫類	*Codonella cratera*	760

第　２　優　占　種		（個体／L）
ワムシ類	*Polyarthra vulgaris*	140

＊個体数は、プランクトンネットNXXX25（目合い41μm）で1000倍濃縮したものを直接検鏡して計測しました。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

～第29報～

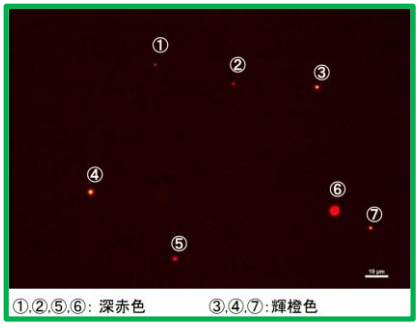
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門　生物圏係

令和8年10月19日

（2）植物プランクトン

（綱）	種　　名	細胞数（群体数）	数	体積
（藍）	*Microcystis aeruginosa*＊	1		
（藍）	*Microcystis wesenbergii*＊	1		
（藍）	*Aphanizomenon flos-aquae*＊	2		
（黄鞭）	*Chrysamoeba radians*	80		
（珪）	*Aulacoseira granulata*	420	◎	◎
（珪）	*Aulacoseira granulata* var. *angustissima*	40		
（珪）	*Aulacoseira ambigua*	360	○	
（珪）	*Aulacoseira distans*	160		
（珪）	*Cyclotella glomerata*	80		
（珪）	*Cyclotella* sp.	220		
（珪）	*Skeletonema potamos*	40		
（珪）	*Acanthoceras zachariasii*	20		
（珪）	*Cymbella* sp.	40		
（珪）	*Navicula* sp.	40		
（珪）	*Nitzschia* sp.	60		
（褐）	*Cryptomonas* sp.	140		○
（褐）	*Rhodomonas* sp.	200		
（緑）	*Chlamydomonas* sp.	20		
（緑）	*Dictyosphaerium pulchellum*	32		
（緑）	*Oocystis* sp.	80		
（緑）	*Pediastrum biwae*	32		
（緑）	*Mougeotia* sp.	16		
（緑）	*Staurastrum dorsidentiferum* var. *ornatum*	3		
（緑）	*Staurastrum* sp.	1		
（他）	*Merotrichia capitata*	2		
（藍）	藍藻綱	4	0.2	3.8
（黄）	黄緑藻綱	0	0.0	0.0
（黄鞭）	黄色鞭毛藻綱	80	3.8	1.6
（珪）	珪藻綱	1480	70.8	63.5
（渦）	渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
（褐）	褐色鞭毛藻綱	340	16.3	15.9
（み）	みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
（緑）	緑藻綱	184	8.8	14.1
（他）	その他のプランクトン	2	0.1	1.2
	総　細　胞　数	2090	総体積（μm^3）	1.71E+06
	種　類　数	25		

注1）細胞数の単位は（細胞／mL）
　　ただし＊印の種は群体数（群体／mL）
注2）優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
　　数字は各綱ごとの占有率（単位：%）
注3）細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
　　試験的に推定した概算値です。



ピコ植物プランクトン
1,000倍G励起で撮影
(倍率：10×20倍)

（3）見つかったピコ植物プランクトンとその数（細胞数）

ピコ植物プランクトン数		細胞数／mL
（藍）	*Synechococcus* sp.	140,000

注1）　プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2～2μm（1μmは1mmの1,000分の1）の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。G励起（緑色光照射）で輝橙色に輝く種類と深赤色に見える種類があります。